

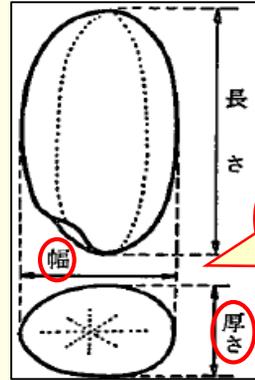
穂肥は稲のスタミナ源です



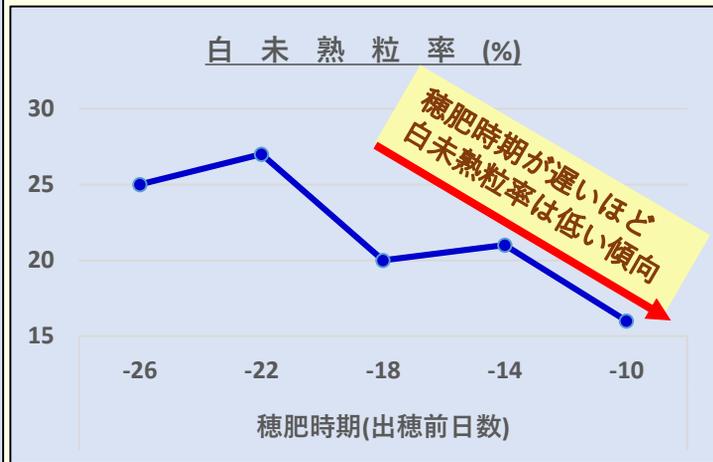
!!!

○穂肥のメリット

- 登熟歩合↑(下図)
- 白濁未熟粒↓(右下図)
- 粒幅・厚↑(右図)



屑米減少
外観品質向上



(注)穂肥が早すぎるとメリットが薄くなるだけでなく、倒伏の要因にもなるので注意してください

○1回目穂肥で粒数確保

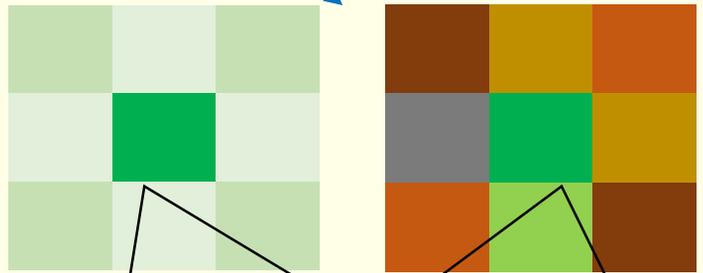
2回目穂肥で登熟向上・稲体の活力維持

※時期や施肥量は幼穂長、葉色を見ながら判断します。詳しくはJA等の栽培暦等を参考にしてください。



(例)穂肥一回目の幼穂
※品種はコシヒカリ
2回目穂肥はこの8日後

その葉色、正しく見えていますか(?!)



人の目は簡単に錯覚を起こします。
周辺の景色に惑わされることなく、
実際に葉色板等で確認しましょう!

※上図の緑は全く同じ色です